

# 佐藤さん(男鹿工3年) 電験3種合格

## 学校初「2年間の努力報われた」

電気設備の保守・監督を行うための国家資格「第3種電気主任技術者」試験(電験3種)に、男鹿工業高校電気電子科3年の佐藤颯太さん(17)が合格した。電験3種は合格率約10%の難関資格として知られ、同校生徒の合格は初めて。佐藤さんは「2年間の努力が報われた。勉強してきてよかった」と話す。

電気主任技術者は電気事業法に基づき国家資格。事業用電気設備の設置者は、電気主任技術者を置かなければいけない規定があり、扱える電気設備の規模によって1〜3種の三つに分かれる。

佐藤さんは、1年生の時に電気主任技術者の仕事に関わる県

の講座を受講したのをきっかけに、資格取得を目指すことにした。学校で朝や放課後に補習を受けたり、長期休みや土日も机に向かったりしながら1日平均で4〜5時間を勉強に充ててきた。

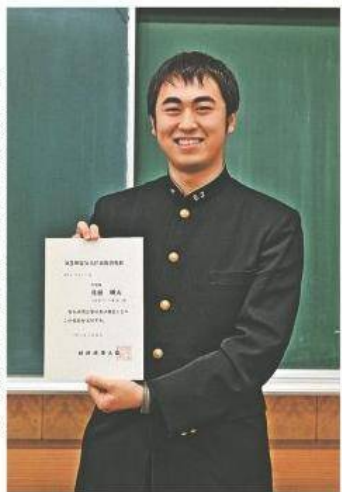
試験は理論、電力、機械、法の4科目があり、3年間で全

て合格できれば資格を得られる。2年生の8月に受けた初めての試験は不合格だった。翌年3月に受けた2回目は3科目をクリアしたが、残り1科目の機械が振るわず、惜しくも合格を逃した。

ミスした科目を改めて復習した佐藤さんは、今年8月の3回目の試験で見事合格。マンツーマンで指導を続けた進路指導主事の石井英樹教諭(55)は「専門に対する好奇心が旺盛で、勤勉さがすごい生徒。卒業後もこの姿勢で頑張ってほしい」と話

す。佐藤さんは来春、秋田大理工学部に進学する予定。幼い頃に男鹿水族館のデンキウナギを見て電気に興味を持ったといい、大学でも電気や電子を学ぶコースを専攻する。

「将来は電力に関わる仕事をしたい。洋上風力にも興味がある。大学ではさらにも上の資格を取れるような知識を身に付け、研究でも生かせればいい」と話した。



第3種電気主任技術者の免状を手にする佐藤さん

(藤田祥子)